

### 花粉症と果物アレルギー



出先のナースから中学生の娘さんのことで相談を受けた。サクランボを食べると口の中が痒くなるという。花粉症はないか尋ねると、鼻炎症状が一年を通じてあるというので、外来に来てもらいアレルギー（アレルギーの原因物質）検査をやってみたところ、スギ、ヒノキ、ハンノキ、シラカンバ、ダニ、イヌ、ネコに加えて複数の果物が陽性という結果だった。最近、問題になっている口腔アレルギー症候群だ。ある物質にアレルギーが起こると、その物質によく似た他の物質にもアレルギーを起こすようになる交叉反応がおきることがある。ハンノキ、シラカンバのアレルゲンはバラ科のリンゴ、サクランボ、モモなどのアレルゲンと似た構造をしており、花粉症

と口腔のアレルギーを起こす人が少なからず存在する。スギとトマト、ブタクサとメロン、スイカ、さらにラテックスゴムとアボガド、マンゴー、パパイアといった組み合わせもあり得る。基本的に口腔アレルギーの症状は口の中や耳の痒みや腫れといった軽い症状が多く、気づいたときには口から吐き出す、できるだけ可能性のある果物は避ける、といった対応でよいが、重症化することもありうるので、心あたりの方は検査をおすすめする。冒頭の娘さんは花粉症の症状もあり受験が近いので、眠くならない抗アレルギー薬も飲んでもらうことにした。

北里大学医学部 教授 熊谷 雄治

